



令和5年度 三股町立梶山小学校 学校だよりNo.1

かじやま

令和5年4月21日(金)発行:文責 校長

入学・進級おめでとうございます



校内の木々の若葉が少しずつ色鮮やかになってきています。

本校は、4月7日(金)に始業式を、11日(火)には入学式を行いました。新入生17名を迎えて、7学級、児童数73名で令和5年度をスタートしました。

本年度も、新型コロナウイルス感染症の状況が心配ではありますが、子供たちには、楽しく、充実した一年間になるよう、目標をもって頑張ってもらいたいと思います。

令和5年度の梶山小の教育

本校は、本年度、創立150年目を迎えます。今年度も、これまでの伝統を受け継ぎ、保護者や地域の皆様の期待をしっかりと受け止め、高い目標を掲げて、新たな歴史を刻みたいと考えております。

本年度も、昨年度に引き続き、教育活動を進めるに当たって、3つの学校経営ビジョンを掲げています。

- 「かんどうがいっぱい じまんがいっぱい やる気じゅう分 まいにちが楽しい」の梶山小の合言葉を基に、義務教育9か年間を見据え、「自ら学び考え、行動する(知・徳・体のバランスのとれた)児童」の育成を目指す。
- 学校におけるすべての教育の判断基準は「子供のために」とし、日々の指導と実態に即したきめ細かな指導を通して質の向上を図る。
- 「コミュニティ・スクール」を推進する中で学校・家庭・地域が一体となって児童の人格の形成に努める。

今年度も、皆様のご支援・ご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

つれづれなるままに

4月7日(金)の新任式の学校紹介で、6年生児童が、「かんどうがいっぱい じまんがいっぱい やる気じゅう分 まいにちが楽しい」の梶山小の合言葉について話してくれました。「感動と自慢とやる気で毎日が楽しい！」とても素晴らしい合言葉だと思います。「今年度もそんな学校づくりをしていきたい。」と強く感じたことでした。

☆ 人の世に失敗ちゅうことは、ありやせんぞ。(坂本龍馬:土佐藩郷士 <1836-1867>)